

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和8年3月7日

事業所名：多機能型事業所 キートス・テトラ

		チェック項目	はい	いいえ	意見 (工夫している点、課題など)	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	利用者が多い時は部屋を分けて支援する等の工夫を試験的に行っている。	利用人数が10人前後になると手狭な時もある。利用者の人数、学年、課題によって、運動の内容を考え、場所の工夫を継続する。
	2	職員の配置数は適切である	9	0	送迎前や食事前など、一時的に手が足りない時は声掛けをしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	1	跳び箱に乗る子がいるため跳び箱を置いている所を改善したい。 階段の手すりが未就学児には高い様に感じる。	収納スペースを整理するなど、環境設定を実施していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	児童の高さにあった机や椅子が必要である。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	0	児童情報や活動メニューなどを共有している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	公開はしているが、従業員に周知しきれていない。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	2	第三者の外部評価がない。 保護者参観イベントを行い、保護者にも環境や児童の様子を見てもらう機会を作っている。	外部の評価は実施なし。 毎月のミーティングで同法人内の他事業所のスタッフとも話し合いをし、第三者の意見も取り入れ業務改善につなげている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	会社全体で研修を行なっている。	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	遠城寺式によるアセスメント評価を定期的に行い課題を共有している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	遠城寺式によるアセスメント評価を行なっている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	「家族支援」に関しても、保護者参加型のイベントを行ったりなど家族との関わりを増やしている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	モニタリングや送迎時に保護者から聞いた要望を適宜反映しようという意識が見られる。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	その日の担当スタッフが決めている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	固定されているものもあるが、2チームに分けてボルダリング・転がしドッチなど活動実施。運動内容の強度、難度を変化させている。 子どもに流れが定着してきたので、今後はもっとメニューを増やしたい。	活動の強度などについて必要な際はスタッフ間で協議しているが、子ども達の興味を引くようなプログラムを更に増やしていきたい。活動のシミュレーションを実施したり、スタッフ全員で立案してプログラムを検討していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	朝礼中に送迎に出るスタッフもおり、十分な確認とは言えないと感じる	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	毎週金曜日にその週の振り返りと、翌土曜日の打ち合わせを行っている。 振り返りが1週間に1回だが、翌日共有される時もある	定期的な振り返りを実施中。共有時に不在のスタッフには、勤務時に都度内容を伝達を継続していく。

		チェック項目	はい	いいえ	意見 (工夫している点、課題など)	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	日々記録を作成している。	サービス提供記録等も活用し、共有・確認できる時間を増やしていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	基本的に児童発達支援管理責任者が出席している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	1	保育所等訪問を行なっている事業所と連絡はとっているが、定期的ではない	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	4	勉強会等が開催されたら積極的に参加したい。	現在医療的ケアが必要な子どもはいないが受け入れる際は連絡体制を整える。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	6	緊急連絡先の更新を定期的に行い今後さらに活用していきたい。	現在医療的ケアが必要な子どもはいないが受け入れる際は連絡体制を整える。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	担当者会議等を園で実施している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	担当者会議等を学校で実施している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	4		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	5	事業所内ではないが、近隣の商店街の夜市へ参加などで交流はある。	機会があれば研修等を共有し、参加を促していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	7	どちらともいえない。	午前中の支援中にも出来るような交流がないか協議し企画していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	連絡帳や送迎時に伝達をおこなっている。送迎時に報告するようにしている。	参加出来る機会があれば、参加していく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	3		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	モニタリングの時期に行なっている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	2	保護者参観日を開催できた。保護者同士の茶話会等に発展させたい。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	2	保護者参観日を実施した。SNS(インスタグラム)にて発信している。	今後もSNS(インスタグラム)や個別連絡で発信していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	個人情報が関わるものは施錠管理している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7		

チェック項目		はい	いいえ	意見 (工夫している点、課題など)	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	3	嘔吐処理の研修などを通して実施している。児発対象での訓練等は行っていない。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	6	放課後等デイサービスでは実施しているが、児童発達支援の子どもを対象とした避難訓練は実施できていないため、今後必要だと感じている。	児童発達の支援中にも定期的に訓練を実施できるように支援内容を工夫していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	1		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	3	医師の指導書が必要な児童がいない。指示書ではなく、保護者からの情報に基づいて対応している	対象児童がいる場合には意見書等を提出して頂くように説明していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	1		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。